

## 取扱説明書

## ワイヤレス片耳ヘッドセット

型番：HST-W80N

品番：03-0638



このたびは、AudioComm® ワイヤレス片耳ヘッドセットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

**【使い始める前に】** 本製品には以下のものが含まれています。  
お使いの前に、必ず内容をお確かめください。

- ヘッドセット本体 ●専用充電コード ●保証書 ●取扱説明書(本書)

## 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 充電式電池について

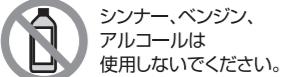
絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムポリマー電池)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

## お手入れのしかた

\*必ず電源を切ってから行なってください。

- 必ず電源を切ってから行なってください。
- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
- シンナー・ベンジン・アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。
- ウインドスクリーンについて：マイクに被せてあるウインドスクリーンは、取り外して水洗いが可能ですが、ただし、破れることがありますので、強く力を入れて洗わないようご注意ください。また、水洗い後は日陰でよく乾かしてから取り付けてください。



## 安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

## △危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



禁止

- 充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれたときは、素手で触らない
- 本製品には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されています。万一、液もれているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

## △警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



22cm以上離す

- 心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは、装着部位から22cm以上離す
- 電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



使用を中止する

- 万ー、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する
- そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。



接触禁止

- 雷が鳴り始めたら、安全のため、本機及び充電コードに触れない
- 感電するおそれがあります。



分解禁止

- 分解、修理、改造しない
- 火災・感電の原因となります。

## Bluetoothについて

## Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、無線通信により、音楽や通話を楽しむことができます。

## Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本製品は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本製品のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げているいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

\*Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本製品の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.5.1

【対応プロファイル】 · HSP(通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)

- HFP(ハンズフリーで通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
- A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
- AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

●本製品はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

## 通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

## 使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が必要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1.ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2.本製品の使用により、万ー、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーテイションの設置など)についてご相談ください。

3.のほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

## △警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意する

歩行中に使うときは、車や踏切、通行者など、周囲の交通に十分注意する

- 交通事故の原因になります。



禁止

自動車やオートバイの運転中、及び自転車に乗っているときは、絶対に使わない

- 交通事故の原因になります。



水かけ禁止

工事現場など、周囲の音が聞こえない危険な場所では、絶対に使わない

- 事故の原因になります。



直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない

- 高温になると、危険を防止するため充電式電池(リチウムポリマー電池)が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。



本機や充電コードの上に重いものをのせない

- 破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。



充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

- コードが破損して火災・感電の原因となります。



航空機内や医療機器の近くで使わない

- 電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。



付属の充電コード以外では充電しない

- 火災や感電、機器の故障の原因となります。



火の中に入れない

- 本製品には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災やその他の事故によりけり

たり、周囲の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。



保管場所に注意

小さなお子様の手の届かないところに保管する

- 思わぬ事故を招くことがあります。



長時間、大音量で聴き続けない

- 聴力障害などの原因となることがあります。

## △注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけり



をしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。



ぬれた手で操作しない

- 故障や感電の原因となることがあります。



浴室、台所など温湿度の多い場所や水飛沫のある場所では使わない

- 感電や故障の原因となります。



暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない

- 破損・故障の原因となります。

振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない

- 落としてけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。

充電コードを熱器具に近づけない

- コードの被ふくが溶け、火災・感電の原因となることがあります。

キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

- 内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。

ほこりの多い場所に置かない

- 火災・感電の原因となることがあります。

シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない

- 変形・変色の原因となります。

自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない

- 電波の影響で誤作動の原因となることがあります。

充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

日本国外では使用しない

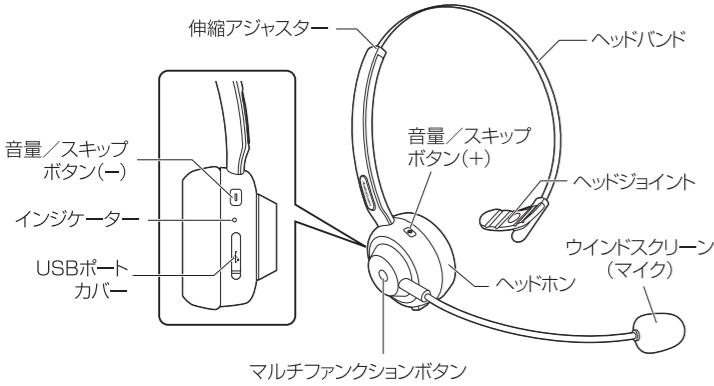
- 本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。

●国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

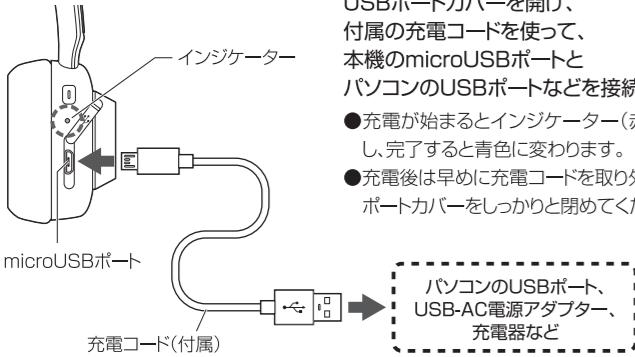
電源	DC5V(USB給電 : microUSB入力端子)

<tbl\_r cells="2" ix="1

## 各部の名称



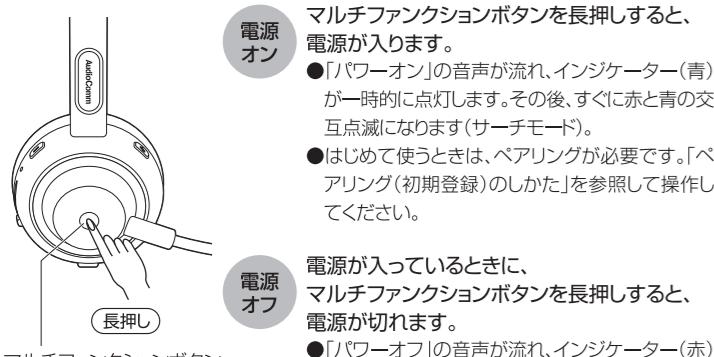
## 充電のしかた



### ヒントとご注意

- はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
- 充電中は本機を使うことはできません。
- 充電には必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
- 本機をパソコンで充電するには、電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とUSBポートは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
- 充電中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
- 家庭用コンセントで充電する場合はUSB-AC電源アダプター(別売)をご利用ください。
- 残量ゼロからフル充電まで約2時間かかります。十分に充電したにもかかわらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度:0~40°C、湿度:20~80% 結露なしにて)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していくなくともインジケーターが青色に変わることがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 長期間使わなかつときは電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも2ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

## 電源のオン／オフ



### ヒントとご注意

- 電池残量が少なくなると、インジケーター(赤)が点滅するようになります。しばらくすると電源が切れますので、早めに充電してください。

## ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器:スマートフォン、パソコン、Bluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。

- はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

- 1 本機の電源が切れていることを確認し、手元にBluetooth機器と本機を用意します。

- 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。また、相手側のBluetooth機器は電源が入った状態にしてください。



- 2 マルチファンクションボタンを長押しして、電源を入れます。

- 「パワーオン」の音声が流れインジケーター(青)が一時に点灯後、すぐに赤と青の交互点滅になります。赤と青の交互点滅時は、サーチモード(Bluetooth機器を探している状態)であることを示します。



- 3 相手側機器で本機を登録してください。

### Bluetoothの設定画面を開く

iPhone:[設定]→[Bluetooth]

SoftBank:[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]

Android:[設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]  
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

au:[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

NTT docomo:[アプリ]→[設定]→[Bluetooth]

Windows Mobile:[設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

## 本機を登録する

相手側機器で本機の名称「HST-W80N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※スマートフォンによっては、ご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

※「0000」でペアリングできないときは、「8888」、「1111」、「1234」もお試しください。

## 本機との接続が完了すると…

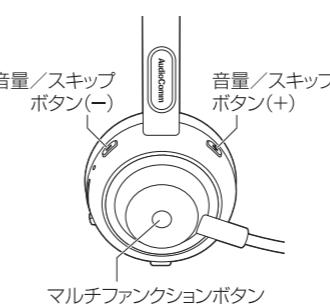
「コネクトedd」の音声が流れ、インジケーターが約5秒ごとに1回青く点灯するようになります。相手側機器で再生などの操作をしてください。機器によっては、本機のマルチファンクションボタンを押すことで、再生を始められる場合もあります。

### ヒントとご注意

- 対応プロファイル:本機はBluetooth標準規格 Ver.5.1(プロファイル:HSP、HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 接続しようと思っている相手側機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とペアリングしてください。
- サーチモードのまま約5分が経過すると、本機の電源は自動で切れます。必要に応じて、もう一度最初からやり直してください。
- 相手側機器によっては、音声出力やマイク入力について別途設定が必要な機種があります。本機を正しく接続しても、本機から音が聞こえないときやマイクが機能しないときは、相手側機器付属の取扱説明書などを合わせてご確認ください。
- 使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは:
  - ・本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してみてください。また、相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。
  - ・上記を試しても正常に戻らない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

## オーディオコントロール

音楽再生に関するボタンの機能は、以下のとおりです。ただし、接続する機器や再生アプリなどにより、動作が異なっていたり、操作できない場合があります。



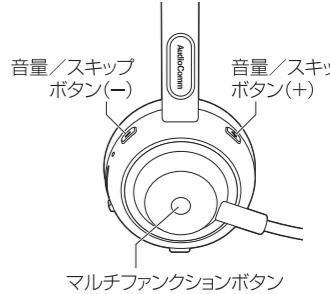
ボタン	短く押す	長押し(2秒間)
マルチファンクションボタン	再生→一時停止	音声アシスタントを起動(Siriなど)
音量/スキップボタン(+)	音量を上げる	次の曲を再生
音量/スキップボタン(-)	音量を下げる	曲の先頭に戻って再生。 続けて押すと、前の曲を再生

### ヒントとご注意

- 聴覚に悪い影響を与えるおそれがありますので、大きな音量で聴き続けないでください。また、大音量で使い続けると、本機の寿命が短くなります。
- 音量調節は、接続した相手側機器の設定と同期する機種と、本機の音量のみを調節する機種があります。また、最大音量に達すると、一時的に音楽再生が中断し、電子音が鳴ります。
- 一時停止中にスキップ操作をした場合は、マルチファンクションボタンを押すと再生が始まります。
- Bluetooth接続中は、再生していない状態が続いている場合、本機の電源は自動で切れません。使い終わったら、必ず本機の電源を切ってください。
- 音声アシスタントについて:
  - ・音声アシスタントを使いたいとき、2秒を超えてマルチファンクションボタンを長押しすると、本機の電源が切れることができます。ご注意ください。
  - ・画面ロックが有効なときや、通話中は音声アシスタントを起動させることはできません。
  - ・音声アシスタントを終了するときは、マルチファンクションボタンをもう一度2秒間長押ししてください。

## 電話着信時の操作

スマートフォンなどと接続中に電話着信があったときは、以下の操作が可能です。ただし、機器によっては本機で操作できない場合があります。そのときは相手側機器で操作してください。



動作	操作方法
電話に出る	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを押す
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを押す
着信拒否	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを2秒間長押しする
保留にする	通話中にマルチファンクションボタンを2回続けて押す。通話に戻るときは、もう一度マルチファンクションボタンを2回続けて押す
リダイヤル	待受中にマルチファンクションボタンを2回続けて押す
音量を上げる	音量/スキップボタン(+)を押す
音量を下げる	音量/スキップボタン(-)を押す

### ヒントとご注意

- 通話時はマイク部を指先でふさがないようにご注意ください。
- リダイヤルについて:リダイヤル先は最後に発信した相手となります(着信した相手へのリダイヤルはできません)。
- お使いの機種によっては、相手側機器で着信音や通話音の出力設定が必要な場合があります。本機にて通話したい場合は、各機器付属の取扱説明書を参照し、本機スピーカーを選択してください。
- 着信音について:スマートフォンの機種や設定によっては、着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後はスマートフォン側から通常の着信音が届くことがあります。

## 保証書とアフターサービスについて

### 保証書について

この製品には保証書がついており、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

- 調子が悪いときは:修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は:保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は:修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

